

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第5分科会		
テーマ	経済・産業・観光		
開催日	平成26年5月9日	検討回数	第3回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

本市における産業(商業、工業)・観光の現状把握について

2. 今回の討議した内容(報告)

本市における産業・観光の現状把握について

前回に引き続き、各産業・観光の現状把握を行うと共に、問題点や本市の実施状況を把握していくこととする。

(1) 商業について

商業の現状

本市の商業はこれまで、人口増加による消費需要拡大に伴い、幹線道路沿線を中心に大型小売店が多く進出し、商店数や従業員数、販売額は大きな伸びを示していたが、近年は、景気の低迷などの影響により小売業の販売額は減少に転じている。

八街駅南側の中心商店街は、路面店が多い商店街であり、様々な業種で形成されているが、生鮮三品がそろわなく、店舗も連なっていないことから、ワンストップでの買い物ができないため、お客さん離れが激しくなっている。

八街市南口商店街の取り組み

組合では、空き店舗対策として休憩施設兼ギャラリーを運営。ここで手作り商品の販売を行なっていて、店番を作成者がすることで地元住民との触れ合いの場として喜ばれている。

一店逸品運動を通して商店街店舗の周知、商店街活動の活性化に取り組んでいる。

今年度より、宅配事業に取り組み、買い物弱者等の地域住民の利便性の向上を図っている。

毎年、夏まつりでは、多くの来街者があるので、組合最大の事業として行なっている

市の取り組み

中心市街地の活性化に向けた八街TMOへの支援

商店街街路灯の補助

八街駅自由通路施設を利用した「ぶらんみなみ」の開設

空き店舗を活用したアンテナショップ「ぼっち」の運営

問題点

南口商店街以外は、商店街としてまとまっていないため、支援が難しい。

(2) 工業について

工業の現状

本市の工業は、地場産業である落花生などの農産物加工業や金属製品の製造などが中心となっており、市内の事業所数(平成22年12月31日時点の従業者4人以上の事業所)は145となっている。

市内の雇用の場の確保や財政基盤の安定のため、新規産業の誘致や既存の中小企業の支援・育成を図る必要があるが、金融危機に端を発した景気の低迷により、事業所数、従業員数、製造品出荷額ともに平成19年をピークに減少している。

市の取り組み

中小企業の経営安定化・近代化を促進するため、制度融資及び利子補給を行っている。

問題点

道路、排水、上水などが整っていないなどから、民間企業が積極的に進出したい状況にはないと思われる。

(3) 観光について

観光の現状及び問題点

市では、八街市観光農業協会と協力して観光農業(落花生掘り、ブルーベリー狩り等)の推進を図っているが、宣伝方法が市のホームページや広報などに限られるため、市外から人を呼び

込めていない。

観光マップがほしいという問い合わせが多いが、作成してないため、対応できていない。
南部に史跡があるため、訪れたいという問い合わせがあるが、交通手段が無い。

3. 次回の検討方針

次回の会議までに時間があるので、これまでに現状把握を行った農業・畜産業・林業・商業・工業・観光について、現状と問題点、市の取り組みと取り組みの問題点などを整理してまとめ、次回は協働による課題解決のアイデアを数多くあげる作業をしていくこととする。